進 行 管 理 表

目標	NO	取　組　事　項	取組数	
1 社会貢献の加速	1～3	① 自然エネルギー導入の加速	3	15
	4～11	② 「既存ストックの有効活用」と「施策連携」による地域社会への貢献	8	
	12～15	③ 戦略的な情報発信の推進	4	
2 安全安心の確保	16～20	④ 大規模災害を迎え撃つ、老朽化対策及び事前復興の取組	5	11
	21～23	⑤ 危機管理体制の強化	3	
	24～26	⑥ 適正な施設の維持管理とＤＸ実装による工事、維持管理業務等の効率化	3	
3 経営力の強化	27～33	⑦ 未来を切り拓く人づくりと組織づくり	7	25
	34～36	⑧ 脱炭素社会の実現に向けたＧＸの推進	3	
	37～46	⑨ 経営資源の有効活用	10	
	47～51	⑩ 利用者ニーズの的確な把握	5	
計			51	51

目標	1 社会貢献の加速	取組事項	①自然エネルギー導入の加速
内容	・ 地域脱炭素ロードマップ実現のため、企業局の技術力等を活かし、市町村・民間事業者等への小水力をはじめとする自然エネルギーの導入支援を行うとともに、ワンストップ技術支援機能の充実を行う。		

取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX
＜項目名＞	1	＜具体的取組＞ 市町村と協働した小水力発電の導入支援	市町村を含めたチーム体制による導入支援 ２件以上／年	チーム体制による導入支援 ２件以上／年					○	◎	
多様な自然エネルギーの導入促進	2	地域資源に着目した民間事業者等への自然エネルギー導入支援	先進的な導入事例の調査研究と情報発信 ２件以上／年	導入事例調査 情報発信 ２件以上／年					○	◎	
	3	市町村・民間事業者等への技術支援	ワンストップ技術支援の実施 関係部局と連携し、市町村・民間事業者等向け説明会の実施	ワンストップ技術支援機能の充実 説明会	説明会	説明会	説明会	説明会	○	◎	

目標	１ 社会貢献の加速	取組事項	②「既存ストックの有効活用」と「施策連携」による地域社会への貢献
内容	・ ダム水源地域のにぎわい創出及び活性化を図るため、関係機関と連携し、川口ダムなどの既存ストックと地域観光資源を有効活用したニューツーリズムの創出や河川環境改善などによるダム水源地域の活性化を推進する。		

取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX
＜項目名＞		＜具体的取組＞									
スマート回廊を核とした地域振興	4	カヌー・SUPの拠点施設の有効活用	カヌー・SUP拠点施設を活用したツーリズム催行回数	1回以上	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	◎		
			川口ダム湖を活用したウォータースポーツ体験者数	20人以上	100人以上	100人以上	100人以上	100人以上			
	5	日本科学未来館、あすたむらんど等との連携	企画展示数 5回以上/年	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	◎		
	6	企業局70周年・川口エネ・ミュー１０周年事業の実施	事業の検討及び準備、実施	検討			準備	実施	◎		○
森づくりの支援	7	ダム水源地での地域が進める森づくりを支援	公有林化支援面積（累計）	882ha	962ha	1,042ha	1,200ha	1,240ha		◎	
	8	町等が実施する公有林の除間伐・植林等を支援	公有林整備（除間伐・植林等）支援面積 40ha以上／年	100ha以上	100ha以上	100ha以上	40ha以上	40ha以上		◎	
地域振興事業の支援	9	水源地域で実施する地域の魅力づくりや環境保全事業を支援	支援団体数 15団体以上／年	１５団体以上	１５団体以上	１５団体以上	１５団体以上	１５団体以上	◎		
ダム水源地域の河川環境改善	10	地域鮎のブランド化やイベント開催による交流人口の増加	稚魚放流にあわせたイベントの開催	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	◎		
局有施設の有効利用	11	新川口寮の多面的活用	多目的スペースの地域開放、サテライトオフィスの設置	建設工事			運用		◎		○

目標	1 社会貢献の加速	取組事項	③戦略的な情報発信の推進
内容	・ 事業運営に対し、広く県民の理解と協力が得られるよう、多様化した各種メディアや既存ストックを活用した積極的な情報発信に努める。 ・ ニューノーマルに対応した環境学習機会創出のため、オンラインによるICT授業やダム・発電所の施設見学等を実施する。		

取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX
＜項目名＞ SNS等の各種媒体の活用	12	＜具体的取組＞ 企業局事業の理解促進と水源地域の交流人口拡大に向けたSNS等による情報発信	SNS等による情報発信 年100回以上	100回以上	100回以上	100回以上	100回以上	100回以上	○	○	◎
県民理解の促進	13	水素を初めとする多様な自然エネルギーの学習機会の提供	川口エネ・ミュー年間延べ体験者数（バーチャル含む）	18,000人	18,300人	18,600人	18,900人	19,200人	○	○	◎
	14	水力・太陽光発電所、工業用水道の見学会による事業ＰＲ	企業局施設見学会実施１０回以上／年	10回以上	10回以上	10回以上	10回以上	10回以上		◎	
	15	ＩＣＴを活用した県内小中学校での出前授業（アウトリーチ）の実施	環境学習などの出前授業の実施15回以上／年	15回以上	15回以上	15回以上	15回以上	15回以上		○	◎

目標	２ 安全安心の確保	取組事項	④大規模災害を迎え撃つ、老朽化対策及び事前復興の取組
内容	• 南海トラフ巨大地震に対し、電力及び工業用水の供給を継続できるよう強靭化を推進する。 • 安定供給確保のため、施設の老朽化対策を計画的に実施する。 • 関係機関と連携し、地下水送水設備の長寿命化対策により、渇水対策を推進する。		

取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX
＜項目名＞ 南海トラフ巨大地震対策の加速	16	＜具体的取組＞ 工業用水道管路の耐震化の推進	第２次管路更新計画の実施（阿南送水管） 管路更新優先度評価の実施	調査・設計・用地			20%完了	60%完了 優先度評価	◎		
	17	川口ダム施設の耐震化の推進	耐震化の実施（ゲート巻上機の補強）	水車発電機内部点検手入れ工事			耐震化工事			◎	
老朽化対策の計画的推進	18	日野谷発電所大規模改修による長寿命化・強靭化対策の実施	大規模改修の計画的推進	構築物現状診断		概略設計発注準備	概略設計			◎	
	19	企業局設備に係る長期工事計画の策定及び計画に基づく設備更新	電気、工水、駐車場事業の長期工事計画の見直し及び設備の更新	電気見直し 計画に基づく設備の更新	工水・駐車場見直し	発電方法の変更に向けた検討	電気見直し	工水・駐車場見直し	○	◎	
渇水対策の推進	20	地下水送水設備の長寿命化	計画的な設備等の修繕等 第１地下水設備 第２地下水設備	ポンプ盤取替	送水流量計取替	受変電設備取替	揚水流量計保守	揚水流量計取替	◎		

目標	２ 安全安心の確保	取組事項	⑤危機管理体制の強化
内容	・ 大規模自然災害を見据えた事業継続計画等の見直しや周知徹底と事故対応訓練を行うことにより、危機管理体制の強化を図る。		

取　組　項　目			ＫＰＩ 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	ＧＸ	ＤＸ
＜項目名＞ 大規模自然災害を見据えたＢＣＰ等の見直しと各種訓練の実施	21	＜具体的取組＞ ＢＣＰ、応援協定、事前復興マニュアル等の見直し	新たな災害に対応したBCP等の見直し	見直し（適宜）					◎		
	22	メガソーラー電力や農水管連結設備を活用した防災・事故復旧訓練等の実施	訓練の実施 ７回以上／年	７回以上	７回以上	７回以上	７回以上	７回以上	◎		
発災時の応援協定等を有効に機能させるための訓練の実施	23	四国４県及び鳥取県との相互応援協定、建設業及び設備業協会との応急復旧工事協定の活用	訓練の実施 ３回以上／年	３回以上	３回以上	３回以上	３回以上	３回以上	◎		

目標	２ 安全安心の確保	取組事項	⑥適正な施設の維持管理と ＤＸ実装による工事、維持管理業務等の効率化
内容	・ 自然災害や感染症への対応などいかなる状況下においても事業を継続するため、施設や点検業務にDXを実装し、企業局点検業務のスマート化を推進する。		

取　組　項　目			ＫＰＩ 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	ＧＸ	ＤＸ
＜項目名＞ 「企業局業務のスマート化」の推進	24	＜具体的取組＞ ＡＩ・ＩｏＴを活用した点検業務のスマート化	Webカメラ・Wi-Fi環境の導入拡大 管路漏水検知システムの実装・活用	坂州・川口発電所 実装・活用	勝浦発電所 実装・活用	吉野川北岸工業用水道 実装・活用	阿南工業用水道 実装・活用	実装・活用	○	○	◎
	25	設備の保守管理等でのドローン（水中ドローン含む）の活用	ダム・発電所等における点検時のドローン活用件数（R2からの累計） ドローン操縦者の確保（操縦者数）	５件 ５名	８件 ６名	９件 ７名	１０件 ８名	１１件 ９名	○	○	○
設備の機能維持、長寿命化	26	保安規程・保守基準に基づいた計画的な点検の実施及びＤＸの導入に併せた規程・基準の適宜見直し	点検件数 年間計画の１００％実施	100%実施 規程・基準の見直し（適宜）	100%実施 規程・基準の見直し（適宜）	100%実施 規程・基準の見直し（適宜）	100%実施 規程・基準の見直し（適宜）	100%実施 規程・基準の見直し（適宜）			◎

目標	３ 経営力の強化	取組事項	⑦未来を切り拓く人づくりと組織づくり
内容	・ 新たな取組の推進や人事交流などにより、幅広い視野と新たな発想を生み出す環境づくりに取り組む。 ・ 現場力の底上げのために、若い世代に確実に知識・技術を引き継ぐ。 ・ 現場からの改善と行動で、業務の効率化を徹底する。		

取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX
＜項目名＞	27	＜具体的取組＞ 電子決裁システムの利用促進	利用率 100%	100%	100%	100%	100%	100%			◎
働き方改革の推進	28	職員のモチベーションを高める働きやすい職場環境の浸透	男性職員の配偶者の出産補助休暇の取得率 毎年１００％	100%	100%	100%	100%	100%			
			男性職員の育児参加のための休暇の取得率 毎年１００％	100%	100%	100%	100%	100%			
新たな取組の推進に向けた組織体制の強化	29	計画的な採用による人材補強	電気、機械職の継続採用枠の確保	採用							
	30	新たな課題に対応する組織体制の構築	他部局及び若手職員を含めたPTによる検討 ３課題以上／年	３課題以上	３課題以上	３課題以上	３課題以上	３課題以上	○	○	○
活発な人事交流による幅広い視野と新たな発想を持った「人材育成」	31	他部局、他機関との積極的な人事交流	年１名以上	１名以上	１名以上	１名以上	１名以上	１名以上			
技術伝承による現場力と技術力の強化	32	若手職員育成、次代を担う職員への技術伝承、事業運営に必要な資格取得・研修の計画的実施	次代職員への知識・技能の引継ぎ	専門技術研修の実施							
			電気主任技術者資格等の計画的取得	必要資格の計画的取得							
現場からの業務改善の徹底によるコスト意識の醸成	33	業務と維持管理費等の効率化	現場職員と幹部職員との業務改善等に係る意見交換の実施 年２回以上	２回以上	２回以上	２回以上	２回以上	２回以上			

目標	３ 経営力の強化	取組事項	⑧脱炭素社会の実現に向けたＧＸの推進
内容	・ 企業局の保有する水力発電設備を最大限活用することにより、GXの推進を図る。 ・ 多様な自然エネルギーの導入を検討する。		

取　組　項　目			ＫＰＩ 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	ＧＸ	ＤＸ
＜項目名＞	34	＜具体的取組＞ 日野谷発電所大規模改修に合わせた出力の増強	発電力増強の計画的な推進	構築物現状診断		概略設計 発注準備	概略設計			◎	
水力発電設備の最大限活用	35	川口・勝浦発電所の発電能力の最大限活用	最大取水量の弾力的運用や高効率ランナ導入による発電力増強	（川口発電所） 関係機関との協議 可能性の検討 （勝浦発電所） 関係機関との協議		調査 調査・ 検討	申請 ランナ取替	運用		◎	
多様な自然エネルギーの導入促進	36	地域資源に着目した自然エネルギー導入検討	先進的な導入事例調査等による導入可能性検討	導入事例調査等、導入可能性検討						◎	

目標	3 経営力の強化	取組事項	⑨経営資源の有効活用
内容	・ 企業局が保有する資産等の有効活用により、収益の増加を図る。		

取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX
＜項目名＞ 電力システム改革への対応	37	＜具体的取組＞ 売電収入の安定的な確保	県民利益の最大化に向けた契約手法の確立	情報収集及び検討	入札の仕様決定	入札・契約	新契約の検証及び見直し	入札・契約	◎	○	
	38	社会情勢等を見据えた最適な契約方法や市場の動向を調査	各種会議等での情報収集、意見交換回数 4回以上／年	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	◎	○	
未売水の低減対策	39	新規需要の開拓や雑用水としての利用拡大等による契約水量の増大	契約有収率 （契約水量／給水能力） 前年度比維持・増加	74%	74%	75%	維持・増加	維持・増加	◎		
駐車場事業の経営健全化・利便性向上策	40	民間ノウハウを活用した駐車場サービスの向上	松茂駐車場におけるカーシェアリングの利用台数／年 キャンペーン等の実施 年２回以上	2回以上	2回以上	2回以上	300台以上 2回以上	400台以上 2回以上	◎		
	41	駐車場利用者の利便性や安全・安心の向上等を図り、利用台数を確保	利用台数 20万台以上／年へ回復	18万台以上	18.5万台以上	19万台以上	19.5万台以上	20万台以上			
	42	藍場町地下駐車場へのＡＩ・ＩｏＴ導入による機能向上	車番認識システムの導入	導入	運用						◎
	43	藍場町地下駐車場エレベータ周辺のモニター設置による局広報及び広告収入の開拓	企業局PR動画と広告収入動画の放映	企業局PR動画の放映 広告募集	広告動画の放映						◎
局有地の有効利用	44	工業用水道事業における未利用地への企業誘致	企業誘致の実現	造成工事	誘致企業の事業運営		工場操業開始 工水利用開始		◎		
工業用水道会計への財政支援	45	工業用水道会計の負担軽減による進捗の加速	電気、土地造成事業からの資金融通の実施	工業用水道事業会計への資金融通							
資金の効率的運用	46	有利な運用利率の確保と検討	効率的な資金運用の実施	効果的な資金運用の検討	債券運用						

目標	３ 経営力の強化	取組事項	⑩利用者ニーズの的確な把握
内容	・ 情報源の多様化により、経営環境の変化や多様化する県民や企業ニーズに対する感度を高め、それらに的確に対応することにより、経営基盤の強化を図る。		

取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX
＜項目名＞ 制度改正等の情報収集・提案	47	＜具体的取組＞ 制度改正、規制緩和に向けた政策要望	政策要望の実施及び政策への反映	提言の実施及び反映	提言の実施及び反映	要望の実施及び反映	要望の実施及び反映	要望の実施及び反映	◎		
利用者のニーズ調査	48	工業用水受水企業訪問（毎年）、 アンケート調査によるニーズ把握	・企業訪問数 15社以上／年 ・アンケートの毎年実施	15社以上 アンケート実施	15社以上 アンケート実施	15社以上 アンケート実施	15社以上 アンケート実施	15社以上 アンケート実施	◎		
	49	駐車場利用者のアンケート調査等によるニーズ把握	アンケートの実施 年1,000人以上 駐車場事業の拡充	1,000人以上 駐車場サービスへの展開	1,000人以上	1,000人以上	1,000人以上	1,000人以上	◎		
各種媒体の活用	50	SNS等の活用	アクセス数 フォロワー数 100人以上増／年	100人以上	100人以上	100人以上	10万件以上 100人以上	11万件以上 100人以上			◎
経営情報の開示	51	第三者が行う会議やホームページでの開示とパンフレット・冊子の発行	決算状況等を会議やホームページで開示 毎年実施	情報開示	情報開示	情報開示	情報開示	情報開示			